

武蔵野教育學論集第10号： 目次,執筆要項,編集後記,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1408

武蔵野 教育学論集

第 10 号

目 次

英語授業における「指導法」「活動」の諸問題	小 菅 和 也	1
児童が意欲的に取り組む言葉遊びの学習について	山 崎 淳	9
小学校理科における気体濃度測定を伴う実験についての考察	樋 口 昇	17
図画工作題材における「大きさ」についての一考察 ～平面的な活動について考える～	大 杉 健	29
小学校教員養成課程学生への発音指導についての考察 -Schwa[a]の発音指導事例より-	伊 藤 撰 子	41
3歳未満児のあそぶ権利	榎 田 二三子	51
保育の造形活動における抽象性と偶然性の位相 一分からなさを基底におくことの豊かさ-	生 井 亮 司・坪 井 麻衣子・神 山 歩	61
保育園におけるリトミック活動の実践と 1、2歳児の模倣行動の発達的变化の検討	高 牧 恵 里・今 福 理 博	77
◆◆◆ ◆◆◆		
薬師寺・佛足跡歌碑の研究I —碑面上半部に刻された書とその内容について—	廣 瀬 裕 之・漆 原 徹・遠 藤 祐 介	106

ISSN 2432-7735

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Faculty of Education

No. 10

CONTENTS

- Some Problems with Popular Teaching Techniques in
English Classes in Japanese High SchoolsKOSUGE Kazuya 1
- A Study of Positive Learning about Verbal Play in Elementary SchoolsYAMAZAKI Atsushi 9
- A Consideration on an Experiment with Gas Concentration Measurement in
Elementary School ScienceHIGUCHI Noboru 17
- A Study on "Size" of the Work in Arts and Handcrafts:
Paintings and DrawingsOHSUGI Takeshi 29
- Pronunciation Instruction for Students in Elementary School Teachers' Training Course:
Schwa[ə] PronunciationITO Setsuko 41
- The Right of Toddlers to Engage in Play ENOKITA Fumiko 51
- A Phase of Abstract Expression in Childcare Modeling Activities:
The Wealth of Being Based on Incomprehension
.....NAMAI Ryoji / TSUBOI Maiko / KAMIYAMA Ayumi 61
- A Practice of Rhythmic Activities in Nursery Schools and Examination of
Developmental Changes in Imitation Behavior of Children Aged 1 and 2
.....TAKAMAKI Eri / IMAFUKU Masahiro 77
- ◆◆◆ ————— ◆◆◆ —————
- Study of Buddha Footprint *Waka* Inscription in Yakushi-ji Temple I:
About the *Sho* and its Contents Engraved on the Upper Half of the Monument
.....HIROSE Hiroyuki / URUSHIHARA Toru / ENDO Yusuke 106

MUSASHINO UNIVERSITY Institute of Education

2020

武蔵野教育學論集執筆要項

2013年10月10日制定

2016年7月14日改正

2019年7月11日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文または制作ノートに投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教育学研究所研究員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) (1) または、(2) を含む共同研究の場合は、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教育学研究所から依頼した者
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限りに、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野教育學論集投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

A 学術論文

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は1人1編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 同号の制作ノートを投稿した者は、原則として、学術論文を投稿することはできない。
- (5) 字数等

①字数

16,000字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。

*横書きの書式は、1ページ43字×38行とする。

*縦書きの書式は、1ページ30字×25行の2段組とする。

*図表、写真は適宜文字数に換算する。

*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執

筆者に負担を求めることが出来る。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③引用

引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。

④見出し

*横書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（I、II、III等）を使用する。

*縦書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、漢数字（一、二、三等）を使用することを原則とする。

⑤注

*横書きの場合、注番号は1, 2, 3等の上付きとする。

例：【正】●●●●¹。

*縦書きの場合、注番号は1, 2, 3等の数字をその該当部分（右横）にカッコをつけて記載する。

*注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。

(6) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

B 制作ノート

(1) 研究作品写真を用いた制作ノートを投稿することができる。

(2) 研究作品は、原則として、その年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(3) 同号の学術論文を投稿した者は、原則として、制作ノートを投稿することはできない。

(4) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(5) 頁数等

①頁数

2頁（解説本文、研究作品写真、その他を含む）以内を原則とする。

②その他

A 学術論文 (5)②から⑤に準ずる。

(6) 校正

A 学術論文 (6) に準ずる。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 査読規定については、別に定める。

(5) 執筆者には、紀要5部、別刷20部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷20部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

*編集後記

2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行拡大によって、前期は全面的なオンライン授業となったが、後期になり感染者数が減少傾向を見せ始め、ようやく対面授業が一部解除となった。対面授業の許可に当たっては、3密を防ぐ対策のほかに、オンラインでの授業配信も同時に行うこととなり、オンデマンド型という新たな授業形式も始まった。また、本学推薦入試も初めて Harutaka によるオンライン面接が導入された。

教育学部有明移転中止となった。これはコロナウイルス感染症の長期化への対応に伴う3密回避により、有明キャンパスの教室が大幅に不足するとともに、対面指導を重視する教育学部の授業実施に支障をきたすことが懸念されることから、継続的に武蔵野キャンパスにおいて授業を行うことの方が良いと判断とのことである。

11月、再び感染者数増加を見せ始め、12月には東京で1日の新たな感染者数が1300人(大晦日)、1月7日には2400人を超え、再び1都3県に緊急事態宣言の発出となる。新型コロナ退散を心から願う。

コロナ禍でお忙しい中、執筆していただきました先生方に深く感謝申し上げます。

(紀要編集委員 廣瀬・高牧)

武蔵野教育学論集 第10号

2021年3月10日発行

編集 武蔵野教育学論集編集委員会

発行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印刷 株式会社 創文

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町13-1

電話 03-5643-3321

【武蔵野大学教育学部における紀要発行の歴史】

通号	名 称	発行年月日	発 行
1	教育研究所紀要 第1巻第1号	2012・3・1	教育研究所
2	教職研究センター紀要 第1巻第1号	2013・3・1	教職研究センター
3	第2号	2014・3・1	教職研究センター
4	第3号	2015・3・1	教職研究センター
5	第4号	2016・3・1	教職研究センター
6	武蔵野教育学論集 創刊号	2017・3・1	* 教職研究センター
7	第2号	2017・8・15	教育学研究所
8	第3号	2017・9・1	教育学研究所
9	第4号	2018・3・1	教育学研究所
10	第5号	2018・9・30	教育学研究所
11	第6号	2019・3・1	教育学研究所
12	第7号	2019・10・1	教育学研究所
13	第8号	2020・3・1	教育学研究所
14	第9号	2020・10・10	教育学研究所
15	第10号	2021・3・10	教育学研究所

* 2017・4・1より教育学研究所設立により紀要名を先行して改称